記者発表資料

令和３年１月１３日
庄内・社会基盤技術
フォーラム運営委員会

『第26回 庄内・社会基盤技術フォーラム』を開催します
～「産・学・官」共同の技術フォーラム～

庄内地方所在の「産・学・官」で組織する庄内・社会基盤技術フォーラム運営委員会では、庄内地方における土木・建築・環境技術の進歩及び技術者の資質向上を図るとともに、他地域に対し意見・情報を広く発信することを目的に、「第２６回庄内・社会基盤技術フォーラム」を開催します。

【庄内・社会基盤技術フォーラムの概要】

〈日　時〉　令和3年1月19日（火）13:30～17:30（受付開始13:00～）
〈会　場〉　酒田市総合文化センター
　　〒998-0034 酒田市中央西町2-59
〈内　容〉　〇特別講演「気候変動下での水に関する問題」
　　東北大学　大学院工学研究科　土木工学専攻　教授
　　風間　聡　氏
　　〇事例・研究発表 10題（プログラムは別添）
〈聴　講〉　〇事前の申込は不要
　　〇参加費無料
　　※講演概要集は当日会場で販売しています。

【主　催】

庄内・社会基盤技術フォーラム運営委員会
委員長：安中 武幸　山形大学農学部教授
構成員：山形大学農学部、東北公益文科大学、鶴岡工業高等専門学校、
酒田光陵高等学校、
国土交通省酒田河川国道事務所、国土交通省酒田港湾事務所、
鶴岡市、酒田市、東日本高速道路(株)鶴岡管理事務所、
(一社)山形県建設業協会鶴岡支部、(一社)山形県建設業協会酒田支部、
庄内生コンクリート協同組合、㈱庄内測量設計舎、前田製管㈱

【その他】

〇(社)土木学会の継続教育（ＣＰＤ）プログラムとしての認定を受け実施します。
発表者、受講者には(社)土木学会よりＣＰＤ単位証が交付されます。
※CPD：Continuing Professional Development→継続的な専門能力開発
〇新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止対策として、マスクの着用等をお願いいたします。

問い合わせ先

庄内・社会基盤技術フォーラム運営委員会（事務局）

小池 禎一　0234-23-5110（前田ホールディングス(株)総務・人事グループ次長）
鈴木 雄次　0234-27-3471（国土交通省酒田河川国道事務所調査第一課長）
杉本　陽　0234-33-6313（国土交通省酒田港湾事務所工務課長）
下岡 英智　0235-22-8772（東日本高速道路(株)鶴岡管理事務所工務担当課長）

プ ロ グ ラ ム

13：30～ 13：35	**開会挨拶**　安中 武幸　　庄内・社会基盤技術フォーラム運営委員長
13：35～ 15：10	**特別講演　「 気候変動下での水に関する問題 」** 風間 聡（東北大学 大学院工学研究科 土木工学専攻 教授）
15：10～ 15：15	**休　　憩**
※ (15：13)	**事例・研究発表（施工技術、環境、地域づくり）**
	発表の進行説明 司会：佐藤 俊明 （東北地方整備局 酒田河川国道事務所）
15：15～ 15：27	**落差工を利用したピコ水力発電システムの実用化研究** 延味 柚花、齋藤 友聖（鶴岡工業高等専門学校）
15：27～ 15：39	**都市下水からのコリスチン耐性菌の検出** 阿部 叶芽、今立 結梨香、萬年 悠真、有賀 梨華、蛸井 颯斗　（山形県立鶴岡南高等学校）
15：39～ 15：51	**月光川ダムの堆積土砂対策事業について** 志鎌 大地　（山形県 庄内総合支庁）
15：51～ 16：03	**流路の分断が生じた渓流域におけるサケ科魚類の放流効果と生息環境** 新保 雄大　（山形大学 農学部）
16：03～ 16：15	**「鶴岡市における住宅セーフティーネット施策」について** 伊関 要　（鶴岡市）
16：15～ 16：27	**底質の反射特性に着目した河川環境評価の基礎的研究** 添田 鷹　（山形大学 農学部）
16：27～ 16：39	**山形県沖地震対応について（初動対応～災害査定）** 木村 豊　（山形県 庄内総合支庁）
16：39～ 16：51	**下水道管路包括委託の導入検討について** 小松 渉　（鶴岡市）
16：51～ 17：03	**赤川における樹木再繁茂対策について** 中村 公貴　（酒田河川国道事務所）
17：03～ 17：15	**家庭用ビデオカメラを使用した路面標示点検の試行について** 渡邉 祐作　（(株)ネクスコ・エンジニアリング東北）
17：15～ 17：30	講　評：菅　　太　（東北地方整備局 酒田河川国道事務所） ：池田 武司（東北地方整備局 酒田港湾事務所） ：布施 光啓（東日本高速道路(株)東北支社 鶴岡管理事務所）

庄内・社会基盤技術フォーラムについて（概要）

【目　的】

庄内地域の土木技術者のレベルアップと連帯感を高めることを狙いとして、産・学・官の土木技術者有志が連携し、研修及び交流の場を提供することにより、地域の土木技術者が新しい技術動向をとらえ、更に他地域への情報発信を目指すことを支援し、地域の発展に貢献することを目的とし、平成11年に設立。

【当フォーラムの参加機関】

■山形大学農学部、東北公益文科大学、
鶴岡工業高等専門学校、酒田光陵高等学校、
国土交通省　酒田河川国道事務所、
国土交通省　酒田港湾事務所、
鶴岡市、酒田市、
東日本高速道路(株)鶴岡管理事務所、
(一社)山形県建設業協会鶴岡支部、
(一社)山形県建設業協会酒田支部、
庄内生コンクリート協同組合、
(株)庄内測量設計舎、前田製管(株)

【活動内容】

年1回、庄内・社会基盤技術フォーラムを開催

令和２年度(第26回)の開催概要

■日時：令和３年１月19日（火）13:30～17:30
■場所：酒田市総合文化センター　ホール
■内容：●特別講演（13:35～15:10）
「気候変動下での水に関する問題」
東北大学　大学院工学研究科
土木工学専攻　教授
風間　聡　氏
●事例・研究発表　10題　（15:15～17:15）

令和元年度(第25回)の開催状況

■参加者：約250人



第25回 庄内・社会基盤技術フォーラム開催状況